

## 地域連携センターの新しい体制に期待

地域連携センター長 小林 敏枝

平成25年度より、地域連携センターは新体制でスタートしました。地域連携センターとして、「地域活動部門」と「生涯学習部門」を置き、さらに、大学全体として「地域連携センター委員会」が、地域の課題に取り組みシステムです。部門にはそれぞれ担当者を配置することでフットワーク軽く動くことができるようになり、よりコンパクトに、またより実質的な動きが可能となりました。

地域連携センター事業は、常に地域との関係性のなかで、迅速にまた柔軟に対応することが求められます。地域の課題を敏感に把握し、学部・学科の専門性を活かして、清泉女学院の知的財産をいかに地域に還元するか。そして、「一番重要なことは、学生の力を地域につなげる仕組みをつくることです。」

「地域に貢献できる人材育成」を目標に、地域活動に多くの学生が参加し、社会に羽ばたく力を培ってほしいと願っています。

### 4月からの主なボランティア活動

- ・長野パルセイロホームゲーム
- ・第15回長野オリンピック記念長野マラソン
- ・第9回長野車いすマラソン大会
- ・第15回長野オリンピック記念長野マラソン視覚障がい者の部
- ・長野市障害者スポーツ大会
- ・長野地区障がい者スポーツ大会
- ・ブッカー作業（大槌町への寄贈本カバー）
- ・子宮頸がん予防啓発イベント
- ・にこにこコンサート
- ・盲導犬育成募金活動
- ・第3回関東甲信越フロアーホッケー競技会
- ・アップル運動広場
- ・須崎市ニュースポーツフェスティバル
- ・千曲市軽スポーツ大会
- ・野尻湖トライアスロン
- ・小布施見にマラソン
- ・学習チューター
- ・放課後子どもプラン



## 困難な時代をどう生きるか

清泉女学院大学創立10周年記念講演

—— 諏訪中央病院名誉院長 鎌田實先生講演会

5月18日、今年清泉女学院大学創立10周年の記念行事として特別講演会を行いました。「困難な時代をどう生きるか」という演題で、諏訪中央病院名誉院長の鎌田實先生のお話を伺いました。

38億年前に始まった命の不思議と尊さ、「人間はどこから来て、どこへ向かっていくのか」について。鎌田先生はさまざまな角度からお話されました。97回に及ぶチェルノブイリ支援、福島原発事故では、いち早く30km以内の現地に入り、「相手がいま一番必要としているものは何か、自分なら何をしてほしいか」といつも考えつつ支援され、「想像力」を持つことの大切さを強調

されました。

「人間は本来自己本位の存在であるが、99%は自分のためでもよいが、1%は相手のこと、自分が相手であれば何をどう感じるかを思い行動してほしい」と語られました。本大学の「自分を高め、他者のために考え、行動できる人間の育成」という教育目標と共通して、大いに共感いたしました。この教育目標を謳い文句に終わらせることなく、鎌田先生のような実践力がほしいと思いました。

器提供者の父親を連れて危険を冒してイスラエルに入り、その少女と面会させたというお話からも、鎌田先生の実行力と愛の大きさがうかがい知れました。

最後に、清泉女学院大学が10周年を迎えるに当たり、若い大生がこうした考えを持ち、自由のある大学として未来に向かっただけで済ませないでほしいと願っています。



### 清泉女学院公開講座・秋

講座名	開講日	曜日
プレ初級「認知症予防脳トレ士」養成講座 (後期)コース (10回シリーズ)	10月12日	土
	11月9日	
	12月7日	
	1月11日	
初級「認知症予防脳トレ士」養成講座 (後期)コース (10回シリーズ)	2月8日	土
	10月26日	
	11月23日	
	12月21日	
清泉女学院大学 やさしい心理学講座 (5回シリーズ)	1月25日	土
	2月22日	
	10月19日	
	11月9日	
大人のための絵本講座	12月14日	土
	1月11日	
メディアを読み解く	2月15日	土
	9月7日	
美術史入門～「美術検定」対策講座～	9月7日	土
	9月22日	
アメリカン・フォークソングの世界	10月5日	土
	10月19日	
医療・福祉職種のための ユーモア・コミュニケーション入門	10月19日	土